



令和初めてのお正月に向けて (小平ふるさと村)

令和元年12月定例会は、11月26日から12月19日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成30年度の各会計歳入歳出決算(詳細は2面に掲載)を認定するなど、22件の市長提出議案を可決・認定・同意しました。議員提出議案は、放射線副読本の記述内容の見直しを求める意見書など3件を可決し、4件を閉会中の継続審査としました。請願は継続審査となっていた1件を採択しました。

また、11月27日から3日間にわたり、25人の議員から60件の一般質問がありました。

12月定例会

令和元年度一般会計補正予算(第3号) など25議案を可決

—平成30年度各会計歳入歳出決算を認定—

新しい年を迎えて

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろより市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月1日に天皇陛下が御即位され、「令和」の時代が幕を開けました。10月には消費税が10%に引き上げられ、市民生活に大きな影響が出るなど時代の節目といえる年となりました。

また、アジア初となるラグビーワールドカップが開催され、選手たちの勇姿が日本中に元氣と勇気を与えてくれた一方で、熊本県熊本地方を震源とする地震や、東日本に記録的な大雨をもたらした台風19号など、大きな災害が各地に甚大な被害を及ぼし、災害に対する備えの重要性を改めて認識した一年でもありました。被災されたすべての方に心からの御見舞いを申し上げます。

そのような中で、小平市議会におきましては、昨年4月の統一地方選挙により、市民の皆様から信託をいただいた28人の市議会議員が選出され、新たな構成でスタートをいたしました。現在、市政への政策提言等の実施に向けて各常任委員会が動き出しました。引き続き、市民の皆様にとってわかりやすく、開かれた市議会を目指し、継続して議会改革に取り組みしていく所存です。

本年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されるほか、令和2年度は、小平市第三次長期総合計画基本構想の最終年度となります。少子高齢化に伴う課題解決や子育て環境の充実、災害対策など、さまざまな課題に目を向け、市民の生活向上に寄与できるよう、議員一同、全力を尽くしてまいりますので、引き続きご指導を賜りますようお願いいたします。

新春に臨み、本年が皆様にとりまして笑顔の絶えない幸福な一年となりますことを心より祈念いたします。新年のごあいさつとさせていただきます。

副議長
津本裕子

議長
磯山 亮

◆議員の寄附行為や時候のあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。



平成30年度決算総括表

単位：円

Table with 4 columns: Category, Income, Expense, Difference. Rows include General Account, Special Account (National Health Insurance, etc.), and Total.

平成30年度各会計決算の認定議案は、9月定例会最終日に市長から提出され、その後これらの議案を審査するため、一般会計及び特別会計の各決算特別委員会を設置しました。

平成30年度 各会計決算を認定

フォーラム小平 賛成

防災機能の向上や待機児童解消のための事業等を評価

賛成の理由を以下に述べる。①防災行政無線のデジタル化など防災機能の向上等を評価するが、福祉避難所マニュアルが後回しになっていることなどは課題である。

市議会公明党 賛成

防災・防犯対策や子育て支援策等が進んだことを評価

主な賛成理由を以下に述べる。①マンホールトイレの整備が大きく進んだことや小学校通学路への防犯カメラの設置が完了したことなどは評価する。

政 和 会 反対

財源確保への取り組みが不十分な点や消極的な市政運営を指摘

反対の理由を以下に述べる。①ふるさと納税の流出額が約2億7千4百万円に達していることに対し、寄附金獲得への工夫が見られないなど財源確保への取り組みが不十分である。

一般会計決算に対する 各会派の討論 (要旨)

一般会計決算に対する

まちづくり市民こだいら 反対

緑を残そうという姿勢が見られない点などを指摘

小学校給食での小平産野菜の購入費用5分の1補助や、生活困難者への住居確保給付金等の事業は評価できるが、以下の理由により反対する。

生活者ネットワーク 賛成

市民の安心安全な暮らしのための堅実な事業展開を評価

財政の健全運営を図りながら安心安全な暮らしのため堅実に事業を展開していることから賛成する。

日本共産党小平市議団 賛成

子育て支援、健康増進、教育環境の充実などを評価

賛成の理由を以下に述べる。①保育園開設等により子育て支援策が図られた。②人間ドック等の利用費補助を行い健康の保持増進を行った。

一人会派の会 反対

場当たり的な市政運営となっている点などを指摘

反対の理由を以下に述べる。①原水爆禁止世界大会国民平和大行進に対する議長交際費からの支出を今年度やめたことは評価するが、市長交際費からも支出があり、公正公平の観点から不適切である。

※小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金

議事を傍聴 しませんか?

今後の 市議会の日程(予定)

開会時刻 原則として午前9時 場所 市役所7階

傍聴される方は、議会事務局へお越しください。

Table of council dates from 1/31 to 3/16, listing committee meetings and general sessions.

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

可決、認定または
同意した
主な議案

令和元年度一般会計
補正予算(第3号)

本補正予算は、保育園等の公
定価格の改定及び幼児教育・保
育の無償化に伴い、認定こども
園、新制度に移行した幼稚園、
認可保育園に係る事業費と財源
構成を補正するほか、鷹の台駅
前広場用地の購入など年度末に
向けて事業を実施するために必
要となる経費を計上することが
主な内容です。

補正予算の規模は、歳入歳出
をそれぞれ3億2千6百76万9
千円増額し、総額をそれぞれ6
百88億3千6百87万9千円とし
ます。このほか、鷹の台駅前広
場用地の購入に伴い、地方債及
び債務負担行為の補正を行うと
ともに、本年度末で指定管理者
の指定期間が満了する有料自転
車駐車場及び市民総合体育館の
指定管理料について債務負担行
為を設定します。

国民健康保険条例の
一部を改正する条例

令和2年度分の国民健康保険
税から適用する税率の改定を行
うために改正するものです。
主な内容は、一般会計からの
法定外繰入金等の段階的な解消に
充てるため医療保険分、後期高
齢者支学金分及び介護保険分
について所得割額及び均等割額の
税率をそれぞれ改正します。
なお、小平市国民健康保険運
営協議会から適当である旨の答
申をもらっています。施行期日

指定管理者の指定

12月定例会では、指定管理者
の指定についての議案が2件提
出され、それぞれ可決されまし
た。これらの議案は、地方自治
法及び公の施設の指定管理者の
指定の手續等に関する条例の規
定に基づき、各施設の管理を行
う指定管理者を指定するため提
出されたものです。

人権擁護委員候補者の推薦

現在、7人の委員が法務大臣
から委嘱されていますが、この
から1人増員を図ります。新た
に増員する人権擁護委員の候
補者を次のとおり推薦すること
に同意しました。
人権擁護委員候補者
永井 義明氏

指定管理者
公益社団法人 小平市シルバ
ー人材センター

指定管理者
【小平市民総合体育館】

一般社団法人小平市体育協会
を代表事業者として、東京フッ
トボールクラブ株式会社との共
同で事業を運営する小平市民総
合体育館共同事業体

常任委員会の行政視察

常任委員会では、先進市等の事業を調査するために行政視察を行っています。
令和元年10月23日～25日及び10月30日～11月1日に実施した視察先、及び視察事項
は以下のとおりです。

Table with 2 columns: Committee Name and Visitation Details. Committees include: 総務委員会, 生活文教委員会, 厚生委員会, 環境建設委員会.

12月定例会

議案等に対する各議員の賛否

会派名略称 () 内は各会派の議員数 政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 一人：一人会派の会(4) 共産：日本共産党小平市議団(3) 生ネ：生活者ネットワーク(3) 市民：まちづくり市民こだいら(1...無会派)

Main table showing voting results for various proposals (e.g., 放射線副読本の記述内容の見直しを求める意見書, 令和2年度から導入される予定の大学入試制度改革について再検討することを求める意見書).

○：賛成 ×：反対 -：欠席 ※議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案等 注1 注2

Summary table of unanimous resolutions, including items like 臓器移植の環境整備を求める意見書, 平成30年度小平市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定, etc.

注1 議長は表決に加わりません。
注2 佐藤徹議員は欠席のため、議員提出議案第12号、市長提出議案第53号～57号、71号及び請願第2号の表決に加わりません。
※1 用語の解説については7面をご覧ください。

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



オリンピック・パラリンピックに浮かれるな
伊藤 央議員(一人会派の会)

オリンピック・パラリンピックに浮かれるな

質問 ①これまで東京2020オリンピック・パラリンピック関連で市が支出した費用の金額は。

②近年、オリンピックの過度な商業主義化への批判があるが、商業化したイベントへ市が公金を支出することに対する見解は。

③メダル争いやそれにまつわる過度な報道がアマチュアスポーツの勝利至上主義を招いているという指摘に対する見解は。

④IOC、JOCの小平市に対する貢献、及びFC東京の小平市に対する貢献は。

市長 ①平成27年度から30年度



玉川上水の魅力／自然災害対策／学校給食センター更新事業
幸田昌之議員(市議会公明党)

小平の財産である玉川上水の魅力をもっと引き出すために

質問 史跡玉川上水整備活用計画の成果と課題は。

市長 都からは、倒壊のおそれのある高木対策等おおむね計画どおり実施し、課題は保護等にさまざまな意見があるので、計画期間終了後も引き続き整備する必要があり、と聞いています。

自然災害の脅威に備える対策を早急に進めるべき

質問 近年、変化する災害に対する上下水道や電線など生活インフラの整備対策の見解は。

市長 台風等で大規模停電が起



鷹の台駅周辺のまちづくり／利用者満足度を高めるスポーツ施設
福室英俊議員(政和会)

鷹の台駅周辺にまちづくりに関して

質問 ①三菱UFJ銀行鷹の台出張所跡地北側の公園に関して、駐車場等として整備できないか。

②小平都市計画道路3・2・8号線開通を見越し、用途地域の変更など検討は。

市長 ①跡地の用地取得が実現した際には、駅前広場整備について検討を進めていく。

市内スポーツ施設の利用者満足度を高めるために

質問 ①小平第六小学校の夜間照明の稼働率は。

②小川西グラウンドの人工芝化に向けた進捗状況は。

③小川西グラウンド等の夜間照明のLED化の検討は。

市長 ①36玉のうち11玉点灯しており、約3割の稼働率である。

②問題点の抽出及び整理、計画図の作成、概算工事費の算出などを行っている。

③手法等さまざまな事項を勘案の上、調査、研究していく。

【掲載分以外の質問項目】
○FC東京のホームタウン小平としてのプレゼンスを高めよう
○防災・減災の取り組みを問う
○職員の休日出勤をなくす働き方改革を進めよ
○愛の鞭ゼロ作戦の取り組みは



自治会活動の活性化を／若者支援でより住みやすいまちに
橋本孝二議員(市議会公明党)

小平市として各地域の自治会活動をより活性化させるべき

質問 ①新たな自治会発足と既存の自治会活動への取り組みは。

②防災対策等の観点で既存自治会と市の連携対応の総括は。

市長 ①自治会ハンドブック等において自治会発足手続の情報掲載するなど支援をしている。

また、自治会地域懇談会等の機会を捉えて情報共有等を行い、自治会同士や地域のさまざまな活動団体との連携を進めている。

②自治会地域懇談会等の機会を捉え、防災の取り組み等をテーマにした情報共有など総合的な支援と連携に取り組んでいる。



小・中連携教育へ吹奏楽のまち／こだいらの活用／防災意識向上
山田大輔議員(政和会)

吹奏楽のまちこだいらを小・中連携教育推進に向け活用すべき

質問 ①小学校全校への吹奏楽クラブ設置で、さらなるレベルアップを目指すことへの見解は。

②楽器寄附ふるさと納税で楽器の拡充を図ることへの見解は。

教育長 ①学習指導要領では、教科的な色彩の濃い活動を行う組織にならないこと、学校等の実態を踏まえること等が示されており、児童が自主的、実践的に取り組む時間であることから、全校一律の設置は考えていない。

②現時点では活用は考えていないが、児童・生徒の教育環境を充実するためのふるさと納税

制度の活用を研究していく。

自助と共助の自治精神を持ち、防災意識向上を促進すべき

質問 ①自治会加入率の推移は。

②仮称コミュニティFMこだいらの開設、活用が防災、地域活性化等となり得るが見解は。



市内を流れる玉川上水



小平の郷土史、小平弁・方言を文化として後世に引き継ぐため
小野高一議員(政和会)

小平の郷土史、小平弁・方言を文化として後世に引き継ぐため

質問 ①郷土こだいらを教材とした小・中学校での教育機会は。

②小平ふるさと物語を教材とした小・中学校での教育機会は。

③郷土愛を育む取り組みは。

④人生の功労者である高齢者の話を聞く場の必要性は。

⑤小平弁を小平の文化として大事にしていく考えへの見解は。

教育長 ①平成30年度の社会科の歴史の授業で中学校は1校使用、小学校では使用していない。

②平成30年度の社会科の歴史の授業において小学校は1校使用、中学校では使用していない。

市長 ③各種の伝統行事や地域の食文化の再現、伝統的な遊びの継承などのほか、鈴木ばやし保存会での後継者の育成や、郷土研究会の活動支援等している。



市及び教育委員会の働き方改革
使用済み紙おむつの持ち帰り

中江美和議員(一人会派の会)

して把握している。

市及び教育委員会職員の働き方改革の取り組みについて

質問 ①市職員の1か月の最長時間外勤務時間とその所属は。

②小・中学校教員の1か月の最長時間外勤務時間は。

③教育委員会で進めている出勤システムの導入状況は。

④時間外勤務にあらわれない市の管理職の勤務状況把握は。

市長 ①160時間で契約検査課の職員である。

教育長 ②小学校が25時間40分、中学校が32時間30分である。

③元年12月1日の導入を目指し準備を進めている。

市長 ④出勤システムを使用

再び、保育園等での使用済み紙おむつの持ち帰りについて問う

質問 ①家庭ごみ有料化に合わせて平成31年4月から公費負担による公立保育園での処分を先

行実施できなかった理由は。

②来年度から持ち帰らせずに保育園で処分できないか。

市長 ①公費負担により処分する場合は、私立保育園への支援も合わせた実施が公平性の観点から妥当であり、公立保育園のみ先行実施する考えはない。

②私立保育園も含めた公平で効率的な方法と費用負担について、引き続き検討していく。

ひきこもり地域支援の充実
食品ロス減でSDGsを担う市へ

津本裕子議員(市議会公明党)

ひきこもり地域支援の充実のため

質問 ①東京都ひきこもりサポートネットとの連携の現状は。

②就学期からの早期対応が重要だが、卒後も含めた教育部門と子育て支援課の連携は。

市長 ①都が実施する相談対応のうち市では訪問相談の受付を行い、ケース検討会議に都の要

請があれば関係課が同席し情報共有するなど連携を図っている。

教育長 ②スクールソーシャルワーカーが早期対応に当たるとともに、関係部署の相談窓口や

サービスの情報提供を行うなど、社会とのつながりを絶やさない

ための適切な対応を行っている。

食品ロス削減の取り組みを通じてSDGsを担う小平市へ

質問 ①フードバンク以外の食品ロス削減について、取り組みの現状と課題は。

②SDGs未来都市を食品ロス削減の分野で目指すべきでは。

市長 ①ごみの発生抑制が重要となるため市民説明会等を通じて意識啓発を行うなどしている。

市民等が発生抑制の重要性を理解し生活等の中で実践し定着させることが課題と捉えている。

②元年度は31都市がSDGs未来都市に選定されており、先導的な取り組みに注視していく。



集会施設等の利用者負担の見直し
介護認定調査は利用者の立場で

鈴木だいち議員(日本共産党小平市議員団)

らうものと認識している。

集会施設等の利用者負担の見直しは未来のためになるのか

質問 ①減額区分は誰がどのような基準で公平に判定するのか。

②障害者団体ではない団体に障害者が所属している場合、障害者にも自己負担は発生するか。

市長 ①公共性の高さの基準や公平で公正な判定の方法等の検討を重ねたが、利点と課題があるため市民意見交換会を設けて

いる。もたらした意見を踏まえ、公平性等の面で疑念や混乱が生じない方法を検討していく。

②集会室等の貸し出しは団体に對して行っており、使用料については団体として負担しても

日の日中以外でも対応している。

利用者が家族の立場によりそった介護認定調査を

質問 ①介護認定調査時のケアマネジャー同席について見解は。

②家族が平日に認定調査に同席できない場合の対応は。

市長 ①原則的に同席できないこととしているが、ひとり暮らしで認知面の低下が見られる人や家族が同席できないため不安がある人はケアマネジャーに同席してもらうなどしている。

②基本的には平日の日中に行っているが、同席する家族などの都合が合わない場合には、平日の日中以外でも対応している。



市立小・中学校における危機管理
市内水路の清掃について

鈴木洋一議員(政和会)

める初動態勢に基づき対応する。

小平市立小・中学校における危機管理について

質問 ①全小・中学校で危機管理マニュアル等策定しているか。

②どのような災害を想定して避難訓練を実施しているか。

③防災危機管理課と緊急時の対応の連絡を取り合っているか。

教育長 ①全校で学校危機管理マニュアルを策定している。

②火災や地震のほか、風水害なども想定し、全ての小・中学校で年11回の訓練を行っている。

③台風等の緊急時には関係課による連絡会に出席するなど連絡を密にしている。災害対策本部設置の際は地域防災計画に定

められた対応を行っている。

質問 ①市内の水路の清掃に

は何団体が参加しているか。

②除草作業等は、年1度の沼

さらいでやらない場所は隣接所有者が行っており負担がかかっているが、市で対応できないか。

市長 ①沼さらいでは水路隣接の16自治会とJA東京むさし19支部に協力してもらっている。

②協力してもらっている市民が高齢化により作業が難しくなるなど、さまざまな事情があるので、個別に相談してもらった上で、適切な対応を行っている。

清掃について

質問 ①生活保護を申請に来た生活困窮者に対し、相談者全員に申請意思を確認しているか。

②受給者に就労指導をした件数と就労に結びついた件数は。

③1人のケースワーカーが対応している受給者の平均人数は。

市長 ①面接担当職員が全ての相談者に意思を確認している。

②平成30年度は就労指導が87人、就労に結びついたのが77人。

③10月末時点で109世帯である。



子育て中の諸課題
保育園の申し込みについて

小林洋子議員(フォーラム小平)

場合、就労時間の証明が難しい。

保育園の申し込みについて

質問 ①保育園入園選考基準表の就労については、月の勤務日数と何時間以上かで点数が決

められている。1番点数が高いのは月20日以上かつ15時間以上53点、その下は14時間以上の50点と続く。就労時間に休憩時間

は含まれないので、夫婦で同じ9時から17時30分勤務だが昼休憩が夫は45分、妻は60分の場合、就労時間は夫155時間、妻150時間となり妻の点数が下がる。就労の拘束時間は変わらないのに休憩時間によって点数が変わってしまうことについての見解は。

○学校給食について

質問 ①肺炎球菌ワクチンの接種率向上のための取り組みは。

②間もなく子宮頸がん予防ワクチン対象外となる高校1年生への情報提供についての見解は。

市長 ①5月下旬に対象者全員に予防接種の予診票等を発送する個別勧奨を行うとともに市報等で費用助成のお知らせをした。

②予防ワクチンは対象年齢の間に接種することが最も効果的であるとされていることから、定期接種の年齢のうちに接種してもらえよう、今後も市ホームページ等でお知らせしていく。

交通安全対策の充実
ワクチンの周知をより丁寧に

山岸真知子議員(市議会公明党)

交通安全対策の充実のため

質問 ①元年12月1日施行の改正道路交通法では、携帯電話等ながら運転が厳罰化されるが、どのように周知に取り組むか。

②都が運用する自転車安全利用指導員制度を導入できないか。

市長 ①市報等での情報発信のほか交通安全講習会等の機会に

関係機関と連携し周知していく。

②実施場所は交通事故の発生件数等が多い交差点を優先しており、現在は小平市での実施予定はないと聞いている。今後、関係機関と連携し自転車利用者への交通安全対策に努めていく。

定期接種ワクチンの接種対象者への周知をいっそう丁寧に

質問 ①肺炎球菌ワクチンの接種率向上のための取り組みは。

②間もなく子宮頸がん予防ワクチン対象外となる高校1年生への情報提供についての見解は。

市長 ①5月下旬に対象者全員に予防接種の予診票等を発送する個別勧奨を行うとともに市報等で費用助成のお知らせをした。

②予防ワクチンは対象年齢の間に接種することが最も効果的であるとされていることから、定期接種の年齢のうちに接種してもらえよう、今後も市ホームページ等でお知らせしていく。

市民意見交換会を開催します
テーマ：集会施設などの利用者負担の見直しについて

集会施設等の「利用者負担の見直し」について
～市民意見交換会 資料～

実施された「集会施設等の利用者負担の見直しに関する市民意見交換会」のチラシと配付資料



事前防災、事前防犯の充実／(仮称)小平市土地利用基本条例



運動場の改修と人工芝化の問題点／集会施設の利用者負担



公文書の管理について／緑を守って魅力アップするために



多胎育児施策／公共施設の負担見直し

一般質問

市民の命と地域機能を守る事前防災、事前防犯の充実を

質問 ①マンホールトイレを実際に市民に一定期間開放する機会を設けるべきでは。

市長 ①総合防災訓練等で構造的説明及び組み立て訓練を実施している。今後も、より多くの市民が触れる機会が得られるよう引き続き訓練を継続していく。

②平時からの住民等による定期的かつ継続的な防犯活動が行われていることなど設置への諸条件が調った場合に都補助金を活用して支援を行っていく。

質問 ①主な土地利用関係条例等の種別は。

市長 ①開発事業における手続及び基準等に関する条例、市民等提案型まちづくり条例、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例等がある。

②住民要望があっても法令を超えた行政指導等は難しい。都市計画法等を踏まえた中で事業主と住民が相互の立場を理解することが重要と考えている。

質問 ①産休に入る職員の仕事の代替はどのように見解は。

教育長 ①学校の管理職が都の臨時任用教職員採用候補者名簿の登載者から候補者を決定し任用手続を行う。見つかからない場合は学校等が探した者について、特別認定の制度により都の選考手続を経て任用手続を行う。

②市の補助は考えていないが、国等の動向を注視し、更新費用を含め更新時の教員の負担軽減について機会を捉え要望していく。

質問 ①けやき運動場に高さ10m以上の防球ネットを張りめぐらすことは広域避難場所としての機能を低下させないか。

市長 ①機能に支障はないものと認識している。

②人工芝化に約1億8千万円、耐用年数10年として10年間で約2百万円と試算している。

③影響が把握できておらず今後検討していく。

後の実態調査結果等を注視する。集会施設などの利用者負担の見直しと、公民館の役割について

質問 ①今まではほぼ全ての団体が使用料免除されていた理由は。

市長 ①社会教育関係団体がその目的のために利用するとき該当するため。

②市民活動が継続できるよう減額方法を検討していく。

③機械の導入などについては今後検討していく。

質問 ①公文書の範囲は。

市長 ①公文書管理検討委員会が公文書の範囲も今後調整する。

②公文書管理は情報公開制度の基礎となるもので適正化は情報公開推進の上で重要である。

③検討委員会が文書作成から

廃棄までの一連の流れに沿って見直ししており、その中で条例制定も今後検討する予定である。

④職員に外部講師による歴史公文書の研修会を行った。有識者の助言は必要に応じ検討する。

⑤歴史公文書の考え方の導入や、保存期限の見直しを検討している。廃棄を適切に行うために必要な体制の整備も検討する。

小平市の緑を守ってさらに魅力アップするために

質問 狭山・境緑道においても樹木の剪定などについて市民と話し合う場が必要だが見解は。

市長 意見交換会等の要望は都の指定管理者に伝えていく。

質問 ①公文書管理と情報公開の関係についての考え方は。

市長 (仮称)公文書管理条例制定に向けた検討の進捗状況は。

④文書管理の有識者による助言や研修をどう行うか。

質問 ①公文書管理の範囲は。

市長 ①公文書管理検討委員会が公文書の範囲も今後調整する。

②公文書管理は情報公開制度の基礎となるもので適正化は情報公開推進の上で重要である。

③検討委員会が文書作成から

廃棄までの一連の流れに沿って見直ししており、その中で条例制定も今後検討する予定である。

④職員に外部講師による歴史公文書の研修会を行った。有識者の助言は必要に応じ検討する。

⑤歴史公文書の考え方の導入や、保存期限の見直しを検討している。廃棄を適切に行うために必要な体制の整備も検討する。

小平市の緑を守ってさらに魅力アップするために

質問 狭山・境緑道においても樹木の剪定などについて市民と話し合う場が必要だが見解は。

市長 意見交換会等の要望は都の指定管理者に伝えていく。

質問 ①公文書管理の範囲は。

市長 ①公文書管理検討委員会が公文書の範囲も今後調整する。

②公文書管理は情報公開制度の基礎となるもので適正化は情報公開推進の上で重要である。

③検討委員会が文書作成から

多胎育児にやさしい施策で育児支援の充実化を急げ

質問 ①多胎家庭への支援策は現在どのようなものがあるか。

市長 ①多胎家庭のみ対象の支援策は現在ないが、妊婦全数面接等を通して多胎児家庭のニーズ等の把握に努めている。

②平成26年度1件、27年度1件、28年から30年度までゼロ件。

③出産用品など妊産婦等に必要なものを購入する傾向にある。

質問 ①平成22年12月議会の請願書提出から約9年経過しているが、この間市民に意見を求める機会があったか。

市長 ①市民活動団体の登録減等どの程度影響があるか。

③公共サービス全てに受益者負担の原則は適応されるべきか。

市長 ①世論調査等は行ったが、直接市民に意見を求める機会はない。

②これまでの市民活動が継続できるように減額方法を検討する。

③内容や法令等の規定により無料で提供されるものもある。

質問 ①防災備蓄している物品で、3年前と数量の増減があった主な物品名と数量の変化は。

市長 ①平成30年度末時点で、アルファ化米が5万8千4百50食から13万9千3百50食へ、使い捨てトイレが6万7千回分から17万8千4百回分へ、ワンタッチパーティションが60個から2千6百28個へ増加している。

②6か所の備蓄倉庫で集中管理を行っており開設された避難所の状況を把握の上、必要物資を運搬することを想定している。

質問 ①保存樹木の登録が取り消された理由で多い事例は。

市長 ①宅地開発などを行う場合や、倒木の危険性が高い場合、近隣からの苦情がある場合に伐採する事例が多くなっている。

②ホームページ等で緑の重要性について啓発しており、保存樹木の一部は市の名木百選としてパンフレットに掲載している。

今後、広く周知に努めていく。



産後子育て支援の充実を／教員の働き方改革と免許更新

子育て支援にファミリーサポート・センターを利用しやすく

質問 ①提供サービスに家事支援を加えることはできないか。

市長 ①国の実施要綱に基づき、保育施設等への送迎を含む子どもの預かりに限定されており、家事支援の提供はできない。

②市報等への掲載や、ファミリーサポートを年2回、保育園、幼稚園、公民館等の公共施設で配布している。また、利用会員登録説明会や年1回ファミリーサポート会を開催するなど、利用しやすい環境づくりに努めている。

公立小・中学校教員の働き方改革と免許更新について

質問 ①産休に入る職員の代替はどのように見解は。

教育長 ①学校の管理職が都の臨時任用教職員採用候補者名簿の登載者から候補者を決定し任用手続を行う。見つかからない場合は学校等が探した者について、特別認定の制度により都の選考手続を経て任用手続を行う。



防災対策、避難計画など／国保の均等割、法定外繰入金を問う

市の防災対策、避難計画について

質問 ①市の防災対策の想定規模は。

市長 ①均等割額の軽減制度創設等を国に要望した。自治体個々の対応ではなく、統一的な観点で検討すべきものと考えている。

②国から法定外繰入金を減らすよう求められている。繰入金のうち赤字部分解消は時間をかけて段階的対応を検討している。

質問 ①多子世帯均等割減免を実施している自治体への認識は。

市長 ①一般会計繰出金は堅持すべきと考えるが認識は。

②人口が増加する東部地区の防災備蓄についての対応は。



防災備蓄について

質問 ①防災備蓄している物品で、3年前と数量の増減があった主な物品名と数量の変化は。

市長 ①平成30年度末時点で、アルファ化米が5万8千4百50食から13万9千3百50食へ、使い捨てトイレが6万7千回分から17万8千4百回分へ、ワンタッチパーティションが60個から2千6百28個へ増加している。

②6か所の備蓄倉庫で集中管理を行っており開設された避難所の状況を把握の上、必要物資を運搬することを想定している。

質問 ①保存樹木の登録が取り消された理由で多い事例は。

市長 ①宅地開発などを行う場合や、倒木の危険性が高い場合、近隣からの苦情がある場合に伐採する事例が多くなっている。

②ホームページ等で緑の重要性について啓発しており、保存樹木の一部は市の名木百選としてパンフレットに掲載している。

今後、広く周知に努めていく。



防災備蓄について

質問 ①保存樹木の登録が取り消された理由で多い事例は。

市長 ①宅地開発などを行う場合や、倒木の危険性が高い場合、近隣からの苦情がある場合に伐採する事例が多くなっている。

②ホームページ等で緑の重要性について啓発しており、保存樹木の一部は市の名木百選としてパンフレットに掲載している。

今後、広く周知に努めていく。

質問 ①保存樹木の登録が取り消された理由で多い事例は。

市長 ①宅地開発などを行う場合や、倒木の危険性が高い場合、近隣からの苦情がある場合に伐採する事例が多くなっている。

②ホームページ等で緑の重要性について啓発しており、保存樹木の一部は市の名木百選としてパンフレットに掲載している。



防球ネットが設置されているけやき運動場(国分寺市管理)



歯科医療の連携で健康推進 オンラインピック観戦は学校に配慮を

松岡あつし議員(政和会)

歯科医療と連携し口・歯をきれいに健康施策を進めよう

質問 ①口腔ケアの推進で医療費削減効果を上げている自治体があるがどう考えているか。

②医療費削減効果を上げている主な施策の成果の数値は。
③口腔ケア推進による効果は。
④小・中学校の歯磨き指導によるインフルエンザ対策推進は。

市長 ①削減の可能性がある。
②数値として捉えるのは困難。
③経済的試算は困難だが生活の質を高めることが期待できる。
④口腔を良好に保つことが感染症予防になると学校歯科医が話しており継続していく。

オンラインピック・パラリンピック小・中学生の観戦の学校配慮を

質問 ①児童等の観戦の希望を聞くか。希望しない場合対応は。
②部活動の大会などの直前・当日に重なる場合の対応は。
③教員が観戦に同行する場合、時間外対応になった際の対応は。
④観戦に行かない場合、不利益にならない配慮をすべきでは。

教育長 ①希望を確認し、希望しない場合欠席とはしない予定。
②市内の施設で競技の生中継を観戦できるよう調整していく。
③勤務時間の設定を変更するなど対応を検討していく。
④差が生じないよう配慮する。



ふるさと納税の健全な活用を ごみ処理施設の情報提供を

安竹洋平議員(一人会派の会)

ふるさと納税の健全な活用と指定寄附制度拡充で市民参加推進を

質問 ①ふるさと納税の大幅なマイナス収支(損失)と増大を、市はどう捉え対策しているか。
②寄附者が想定した用途に使われない懸念があるため寄附へ踏み切れない事例が存在するが、この機会損失をなくす方法は。

市長 ①市の財政に大きく影響すると捉えている。東京都市長会を通じて都とともに国へ制度見直しを要請し、市報や財政白書で歳入の減少を伝えている。
②寄附金などの事業に幾ら充てられたか詳細に示すことはできないが、基金の目的に沿って



オーラルフレイル対策を 自主避難所設置と情報発信

山崎とも子議員(生活者ネットワーク)

オーラルフレイル対策をして健康寿命を延ばそう

質問 ①こだ健体操普及活動とあわせて口腔機能維持向上の啓発を提案するが市の見解は。
②誤嚥性肺炎予防のため介護予防講座にオーラルフレイル対策を取り入れることはできるか。
③オーラルフレイルのスクリーニングテストを歯科医師会とともに実施することの見解は。

市長 ①こだ健体操教室来場者に歯と口の健康週間事業等の案内等しており今後も幅広い世代を対象とした啓発に努めていく。
②講座の目的や内容を踏まえながら検討していく。

災害時の情報発信と風水害などに対する市の取り組みについて

質問 ①自主避難所開設の基準と台風19号の際の設置経緯は。
②自主避難所開設等の情報発信はどのように行ったか。

市長 ①基準は定めていないが、台風19号が大型で非常に強い勢力で上陸するとの予報や避難所開設の問い合わせが多かったこと等を総合的に判断し開設した。
②市ホームページ、防災・防犯緊急メールマガジン、ツイッター等のSNS及び自動的にテレビのデータ放送等を通じて配信できるLアラートにて行った。

令和元年 小平市歯と口の健康週間事業

無料歯科健診と相談

健康の入口は口から。6月4日から歯と口の健康週間が始まります！この機会に歯科健診を受けましょう。歯や口についての相談も受け付けています。

＜日時・会場＞

① 6月1日 土曜日 小平市健康センター2階

- 歯科健診・相談 午後1時～3時30分 歯科健診、歯アソシエイト
- 歯科講演 午後1時30分～2時
- 妊産婦歯科健診 午後2時10分～3時 妊産婦への歯科健診

② 6月2日 日曜日 東部市民センター・小川西町公民館

- 東部市民センター 午前10時～12時30分 歯科健診、歯アソシエイト
- 小川西町公民館 午前10時～12時30分 歯科健診、歯アソシエイト

年齢に関係なくどなたでも受けられます。予約不要です。

健診・相談は2日に行われます。6月2日(日)は2会場での開催です。各会場とも駐車場が限られています。車でのご来場にはご注意ください。

【問合せ】公益社団法人東京都小平市歯科医師会 042-343-8261

令和元年 小平市歯と口の健康週間事業

「歯と口の健康週間事業」のご案内(公益社団法人東京都小平市歯科医師会)



グラウンドのAED/児童養護施設/こども見守り/小平駅前

竹井ようこ議員(フオーラム小平)

大沼グラウンドにAEDを設置するべき

質問 ①大沼グラウンドにAEDがないことは問題ないのか。
②コンビニエンスストアとAED設置の協定が結ばれないか。

市長 ①近接の医療機関の厚意により、緊急時にはAEDを借用させてもらうことにしている。
②包括協定締結に向けた検討を行っている。店舗へのAED設置には、基本協定書の締結が想定され、店舗オーナーとの個別の合意が必要と聞いている。

児童養護施設退所者へのサポートについて

質問 ①子ども・若者計画にある児童養護施設退所者への支援の進捗状況は。
②施設退所者への奨学金と住居費助成事業の創設の進捗とふるさと納税による施設退所後の住居支援実施への考えは。

市長 ①仮称若者応援ガイドブック作成を考えており掲載情報等の収集等の検討を行っている。
②国や都の支援策等が充実しており仮称若者応援ガイドブック掲載等での周知を考えている。



令和22年の小平市/利用者負担見直し/気候非常事態宣言を

橋本久雄議員(一人会派の会)

令和22年(2040年)、小平市はどんなまちになっているのか

質問 平成29年と令和22年の一般会計歳入額、職員、小・中学生、保育園児、ひとり暮らし高齢者世帯、要介護認定者、認知症高齢者などの人数と増減率は。

市長 令和22年は推計等していない。
質問 ①有料化は決定なのか。見直しの課題について

②有料化についての説明が必要ではないか。
③市民、専門家、職員による検討会を設置できないか。

質問 ①子ども・若者計画にある児童養護施設退所者への支援の進捗状況は。
②施設退所者への奨学金と住居費助成事業の創設の進捗とふるさと納税による施設退所後の住居支援実施への考えは。

市長 ①仮称若者応援ガイドブック作成を考えており掲載情報等の収集等の検討を行っている。
②国や都の支援策等が充実しており仮称若者応援ガイドブック掲載等での周知を考えている。

市長 ①平成22年の受益者負担の適正化検討委員会の報告書では原則有料となっている。
②利用者負担の見直しをわかりやすく伝えられるよう努める。
③半数以上が公募市民の受益者負担の適正化検討委員会の報告書に沿って見直す。

ストップ気候災害、小平市気候非常事態宣言を

質問 ①今後の二酸化炭素排出量削減の取り組みは。
②気候非常事態宣言をできるか。

市長 ①次期環境基本計画で具体的な取り組みを検討する。
②宣言はしない。

用語の解説

※1 公定価格とは 子ども1人当たりの教育・保育等に通常要する費用を勘案して、内閣総理大臣が定める基準により算定した費用額のこと。

※2 IOCとは International Olympic Committeeの略称で国際オリンピック委員会のこと。

※3 JOCOとは Japanese Olympic Committeeの略称で日本オリンピック委員会のこと。

※4 フードバンクとは 食べられるにもかかわらず処分される食品を、食べ物に困っている人や施設に届ける活動のこと。

※5 フリーランスとは 特定の企業や団体、組織に従属しない独立した形態で、みずからの専門知識やスキルを提供して対価を得る人のこと。

※6 自転車安全利用指導員制度とは 都が実施している事業で、自転車の交通ルール・マナーの向上を図るため、指導員が事故の多い交差点などを巡回し、事故に直結する違反行為を未然に防ぎ、違反者等に啓発や指導を行う。

※7 育児パッケージとは 出産・子育て応援品のこと。ゆりかご・こだいら事業では、マタニティサポート面談を終えた妊婦に子ども商品券が渡される。

※8 オーラルフレイルとは 老化によって、かんだり、飲み込んだり、話したりする口腔機能が衰えること。それに伴い、食生活に支障を及ぼしたり、心身の機能低下につながるおそれがある。

※9 スクリーニングテストとは 集団に対して迅速に実施できる共通の検査のことで、無自覚の病気を早期発見することを目的としている。

市議会 ホームページ

小平市議会のページには、さまざまな機能があります。ぜひご利用ください。

議会中継

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。録画映像は会議日の3日後から配信を開始し、次の定例会の前日までの間、ごらんいただけます。

会議録検索システム

本会議や委員会での発言は会議録に記録されます。当システムでは、キーワードなどから会議録を検索することができます。

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲内で傍聴できます。会議当日に、市役所7階の議会事務局にお越しください(午前8時30分から受付)。所定の手続きをいただいた後、傍聴券をお渡しします。

請願・陳情

12月定例会では、継続審査となっていた1件の請願を採択しました。陳情は2件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択された請願事項は次のとおりです。

精神障害者への小平市心身障害者福祉手当の支給を求めることについて

東京都が実施するまでの間の経過措置として精神障害者保健福祉手帳1級、2級所持者に対し市の制度としての小平市心身障害者福祉手当の支給を検討してください。
請願者 小平市小川東町4丁目 小平市けやきの会
会長 小嶋 四郎 外5人

意見書

12月定例会では3件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

放射線副読本の記述内容の見直しを求める意見書

文部科学省は東京電力福島原子力発電所の事故後、各地に避難した児童・生徒へのいじめや風評被害などから子どもを守るために放射線副読本を作成し、小・中学生、高校生に配布してきました。

初版は平成23年で、その後平成26年と平成30年に改訂されましたが、改訂の基準が曖昧で、避難中の子どもたちの多くが帰っていないことや原子力緊急事態宣言が解除されていないこと

「市民と議会の意見交換会」を開催しました

市議会では今年度2回目となる意見交換会を開催しました。今回は、9月定例会の報告を行ったのち、設定したテーマについて、市民の皆さんと意見交換を行いました。各会場で多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

- 11月4日(月)「みんなで考える みちづくり・まちづくり ～あかしあ通りグリーンロード化について～」
(環境建設委員会班)鈴木地域センター 第一、第二集会室 午前10時から 参加者6人
- 11月4日(月)「ICTの利活用による小平の未来のかたち」
(総務委員会班)花小金井北地域センター 第一、第二集会室 午後2時から 参加者12人
- 11月5日(火)「みんなで考える『健幸こだいら』」
(厚生委員会班)小川公民館 ホール 午後7時から 参加者9人
- 11月11日(月)「住みたい・行きたい・買ってみたい ～人と店が集まる街こだいら～」
(生活文教委員会班)小川町一丁目地域センター 集会室1・2 午後7時から 参加者17人



▲総務委員会班の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページ(<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>)のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。今後も市民の皆さんとの意見交換の機会を定期的に設けていきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

臓器移植の環境整備を求める意見書

臓器移植の普及によって薬剤や機械では困難であった臓器の機能回復が可能となり、多くの患者の命が救われています。一方、臓器移植ネットワークが構築されていない外国における移植は臓器売買等の懸念を生じさせ、人権上ゆゆしき問題となっています。

平成22年7月の臓器の移植に関する法律の改正により、本人の意思が不明な場合であっても家族の承諾により臓器の提供が可能となりました。同法の改正以後、脳死下での臓器提供者は年々増加しており、平成28年の臓器提供者数は64人となっていますが、心停止後の提供も含めて移植希望数には届きません。

よって本議会は国会及び関係行政庁に対し臓器移植に関する十分な情報を提供し自由な意志を尊重できる臓器移植の環境整備を求め次の事項を要望します。

- 1 臓器移植に対する理解を深めるため、国民が命の大切さを考える中で臓器移植に係る意思表示について具体的に考え、家族などと話し合う機会をふやす
- 2 より安全な臓器移植のためマニユアルの整備、研修会の開催など個々の施設の事情に応じたきめ細かい支援を行うこと。
- 3 臓器移植についての説明から臓器提供後のアフターケアまで、ドナーの家族に対してきめ細かな対応が可能となるよう移植コーディネーターの確保を支援すること。
- 4 臓器摘出手術から移送までを担う臓器移植施設の担当医について負担軽減対策を講ずること。
- 5 海外における臓器移植の実態や課題等を調査した上で、国民が臓器移植ネットワークの構築されていない国において臓器移植を受けることのないよう必

要な対策を講ずること。衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あて

令和2年度から導入される予定の大学入試制度改革について再検討することを求める意見書

大学入学共通テストの英語民間試験は、今回実施が見送られました。大学入学共通テストについては、ほかにも課題があり、特に国語・数学の記述式問題出題については深刻な問題点を指摘することができます。50万人以上の受験生が参加する大学入学共通テストで、記述式問題を採用することの困難さははかり知れません。報道では採点スタッフの人数は1万人程度必要とされ、そこには学生アルバイトも採用されます。十分に信頼することのできない採

議会目録

10月		12月	
23日	総務委員会行政視察(千葉県千葉市、岡山県井原市、大阪府泉大津市 25日まで)生活文教委員会行政視察(兵庫県小野市、京都府亀岡市、滋賀県東近江市 25日まで)	18日	幹事長会議
24日	埼玉県所沢市議会議員視察来庁(コミュニティタクシーについて)	20日	小平・村山・大和衛生組合議会 昭和病院企業団議会行政視察(長野県長野市)
29日	多摩六都科学館組合議会 東京たま広域資源循環組合議会	21日	議会運営委員会
30日	厚生委員会行政視察(北海道千歳市、札幌市、苫小牧市 11月1日まで) 環境建設委員会行政視察(愛知県名古屋市、豊田市、広島県福山市 11月1日まで) 東京都十一市競輪事業組合議会	22日	湖南衛生組合議会
		26日	12月定例会初日 議会運営委員会(臨時)
		27日	12月定例会2日目(一般質問)
		28日	12月定例会3日目(一般質問)
		29日	12月定例会4日目(一般質問)
11月		12月	
4日	市民と議会の意見交換会	3日	総務委員会
5日	市民と議会の意見交換会	4日	生活文教委員会
6日	多摩六都科学館組合議会行政視察(群馬県富岡市)	5日	厚生委員会
11日	公共施設マネジメント調査特別委員会(武蔵野市視察) 東京都四市競艇事業組合議会 市民と議会の意見交換会	6日	環境建設委員会(市内視察あり)
12日	総務委員会(港区視察)	10日	広聴広報特別委員会
13日	生活文教委員会	11日	小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
14日	厚生委員会	13日	幹事長会議
15日	環境建設委員会(清瀬市視察) 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第3委員会	16日	議会運営委員会
		19日	12月定例会最終日 広聴広報特別委員会
		25日	練馬区議会議員視察来庁(コミュニティタクシーについて)
1月			
		9日	議員参集訓練
		14日	広聴広報特別委員会

あてがき